

31149 地域看護学Ⅱ（活動の展開方法）a、b Community Health Nursing II (Methodology for Expansion)		2年次～ 後期 2単位			
担当者	柳澤 尚代／齋藤 澄子／浦橋 久美子	履修可能学科	N必		
		関連資格	保健（N）		
サブタイトル	地域看護活動の基本的な技術を学ぶ				
授業内容 ・ ねらい	<p>地域看護活動の特徴は、対象者の生活の場（家庭・地域）で看護上の問題・健康問題を把握し、個人・集団・地域全体を看護活動の対象とすることです。活動の基本として、地域の特性および人々の日々の生活と健康状態を多角的に捉えアセスメントし問題解決に向けて支援する能力が必要です。これらの保健師活動に必要な支援展開技法として、地域看護診断、健康相談、家庭訪問、住民・グループ支援活動の知識・技術を学習し、地域で暮らす人々や地域全体のQOLの向上を支援するための具体的な方法を学びます。</p>				
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 展開の基本と進め方 地域看護技術（1）地域診断とは</li> <li>2. 地域看護診断の方法（1）既存資料の活用</li> <li>3. 地域看護診断の方法（2）コミュニティ・パートナーモデル</li> <li>4. 地域看護診断の方法（3）アリスト・プロットモデル</li> <li>5. 地域看護診断の方法（4）エンゲージ、地区視診</li> <li>6. 演習1：既存資料の収集</li> <li>7. 演習2：既存資料の分析</li> <li>8. 演習3：既存資料のアセスメント</li> <li>9. 演習報告会</li> </ol> </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 20px;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>10. 地域看護技術（2）健康相談 11～13. 演習1：インタビュー</li> <li>14. 演習報告会</li> <li>15. 地域看護技術（3）家庭訪問 16～21. 演習：家庭訪問</li> <li>22. 演習報告会</li> <li>23. 地域看護技術（4）住民・グループ組織支援 24～27. 演習：住民・グループ組織支援</li> <li>28. 演習報告会</li> </ol> </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 展開の基本と進め方 地域看護技術（1）地域診断とは</li> <li>2. 地域看護診断の方法（1）既存資料の活用</li> <li>3. 地域看護診断の方法（2）コミュニティ・パートナーモデル</li> <li>4. 地域看護診断の方法（3）アリスト・プロットモデル</li> <li>5. 地域看護診断の方法（4）エンゲージ、地区視診</li> <li>6. 演習1：既存資料の収集</li> <li>7. 演習2：既存資料の分析</li> <li>8. 演習3：既存資料のアセスメント</li> <li>9. 演習報告会</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>10. 地域看護技術（2）健康相談 11～13. 演習1：インタビュー</li> <li>14. 演習報告会</li> <li>15. 地域看護技術（3）家庭訪問 16～21. 演習：家庭訪問</li> <li>22. 演習報告会</li> <li>23. 地域看護技術（4）住民・グループ組織支援 24～27. 演習：住民・グループ組織支援</li> <li>28. 演習報告会</li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 展開の基本と進め方 地域看護技術（1）地域診断とは</li> <li>2. 地域看護診断の方法（1）既存資料の活用</li> <li>3. 地域看護診断の方法（2）コミュニティ・パートナーモデル</li> <li>4. 地域看護診断の方法（3）アリスト・プロットモデル</li> <li>5. 地域看護診断の方法（4）エンゲージ、地区視診</li> <li>6. 演習1：既存資料の収集</li> <li>7. 演習2：既存資料の分析</li> <li>8. 演習3：既存資料のアセスメント</li> <li>9. 演習報告会</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>10. 地域看護技術（2）健康相談 11～13. 演習1：インタビュー</li> <li>14. 演習報告会</li> <li>15. 地域看護技術（3）家庭訪問 16～21. 演習：家庭訪問</li> <li>22. 演習報告会</li> <li>23. 地域看護技術（4）住民・グループ組織支援 24～27. 演習：住民・グループ組織支援</li> <li>28. 演習報告会</li> </ol>				
教科書 参考書	<p>教）『看護系標準教科書 地域看護学Ⅱ』（Ohmsha）                  参）①安梅勲江『グループインタビュー法～科学的根拠に基づく質的研究法の展開』（医薬出版）、②安梅勲江『グループインタビュー法Ⅱ活用事例編～科学的根拠に基づく質的研究法の展開』（医薬出版）他</p>				
評価方法	筆記試験、レポート、演習の参加状況・提出記録により総合的に評価します。				
事前準備学習 履修条件等	3年次の地域看護実習Ⅰ（在宅看護）、4年次の地域看護実習Ⅱ（公衆衛生看護）に欠かせない基本的な技術です。目的を持って積極的に取り組んで下さい。				